

① 動物殺処分ゼロを目指すプロジェクトについて

本県では令和11年度までに「動物殺処分ゼロ」を目指すプロジェクトがはじまりました。収容される動物の多くは野良の子猫であることから地域猫活動と、子犬や子猫の新しい飼い主を探す譲渡会の開催などの推進が望まれます。そこで以下についてお尋ねします。

- (1) 現在、本町で地域猫活動を行っている人はどの程度おられるのか。また、地域猫の数はどのくらいいるのか。
- (2) 本町では不妊・去勢手術費用の助成を行っていますが、これまでの利用状況はどうか。
- (3) 地域猫活動には餌代やトイレの猫砂の購入などの金銭的な負担と、実際に餌をあげたりトイレの管理などの飼育する手間の負担があると思われます。「動物殺処分ゼロ」を目指すうえで今後の取り組みはどうか。
- (4) 他自治体ではふるさと納税を利用して、返礼品なしで地域猫活動への寄付金を募っている自治体があるようです。本町でも取り組むべきと考えるがどうか。
- (5) 猫の飼育は完全室内飼育が推奨されていますが、外に出して飼育される飼い主の方もおられるようです。動物殺処分ゼロを目指すためには、飼い猫であっても外に出ることがあるならば、不妊・去勢手術が必要になるので、注意喚起をする必要があると考えるがどうか。

② 町営駐車場について

本町の町営駐車場について以下の内容をお尋ねします。

- (1) 吉無田と嬉里に月極駐車場がありますが、それぞれ何台で、月額料金はいくらか。また、嬉里駐車場には時間駐車場の駐車場がありますが、その台数と料金、年間の売り上げはいくらか。また、それぞれの料金は周辺の駐車場の料金と比較してどうか。
- (2) 嬉里駐車場の時間駐車は、近隣の民間の駐車場と比較して低い料金設定になっていると感じる。民間の駐車場経営に影響を与えることから、周辺の駐車場よりも同等以上の料金設定にすべきと考えるがどうか。
- (3) 時間駐車場の利用率は低いようである。駐車場事業が始まった頃から周辺の状況も変化していて、時間駐車場のニーズが減ってきているものと思われる。時間駐車場の台数を減らし、月極駐車場を増やす考えはないか。
- (4) 嬉里駐車場の時間駐車は料金の徴収を人力で行っているため駐車場管理委託料が年間500万円以上かかっている。一般的に駐車場管理は機械化が進んでいて、人力で会計を行っている駐車場はほぼ無くなっていると思われる。本町の時間駐車場管理に機械を導入しない理由は何か。また、機械を導入し無人化にする考えはないか。